様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2026 年　5 月　21 日

都道府県知事

大井川　和彦　　殿

提出者



住　所　茨城県ひたちなか市高場１７６０

氏　名　北越パッケージ株式会社　生産本部　関東工場

常務取締役　関東工場長　　大町　伸一

電話番号　029-285-3073

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北越パッケージ株式会社　生産本部　関東工場
事業場の所在地	茨城県ひたちなか市高場１７６０
計画期間	令和8年4月　～　令和9年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業　　紙加工品製造業
② 事業の規模	１６，３８２百万円（令和7年度売上）
③ 従業員数	３６１名（令和8年4月1日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	紙くず　→　古紙回収 木くず　→　破砕（再生利用） 廃プラ類　→　破砕、圧縮、焼却（埋立） 　→　固形燃料化（再生利用） 廃油・廃酸　→　油水分離、混合（再生利用） 汚泥　→　混合（再生利用） 廃アルカリ　→　中和（再生利用） 廃蛍光灯　→　回収（再生利用）

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

環境管理責任者　：　関東工場長（環境活動と総括管理）

廃棄物処理責任者　：　安全環境管理室長（廃棄物処理に関する指導、管理）

環境管理部門責任者　：　各部門長（廃棄物管理含め、当該部門の環境保全活動を行う）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和7 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別指導による有価物への転換等の廃棄物削減活動 生産におけるスキル、歩留まり向上による廃棄物削減 業者変更等による再生化の促進 発生工程、装置の見直し		
②計画	【今年度（　令和8 年度）目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 生産量増加に伴う廃棄物増加に対し、歩留まり向上に努める 分別方法の表示工夫、指導強化を行い、リサイクル品への転換をより一層進める 親会社での処分可能品の模索		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 有価物としての分別（金属、電線くず等の分別、PE, PPの分別） 廃棄物置き場の区画化 手順書作成による分別方法の周知
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラ類の分別強化により埋立処分廃棄物を削減する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　令和7 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 業者選定による再生化、リサイクル促進 回収型リサイクルシステムの活用		
②計画	【今年度（　令和8 年度）目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 業者選定 古紙分別の強化による製紙会社での利用促進 親会社での古紙利用の拡充		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　令和7 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 無し		
②計画	【今年度（　令和8 年度）目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類＿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 親会社での処分可能品の模索		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　令和7 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 無し		
②計画	【今年度（　令和8 年度）目標】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　令和7 年度）実績】　別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類_		
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別、排出方法の指導強化 リサイクル推進、有価物化の促進		

	②計画	【今年度（　令和8 年度）目標】　　別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 分別、リサイクル推進、有価物化促進の継続実施		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

【前年度(令和7年度)実績】

(特管)

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃プラ類	廃油(ウエス)	廃酸	汚泥	廃アルカリ	廃蛍光灯	廃乾電池	OA・什器等	引火性廃油	合計
排出量	104,425.54 t	115.20 t	34.69 t	16.65 t	2.64 t	27.69 t	3.05 t	0.20 t	0.00 t	1.14 t	39.78 t	104,666.57 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	104,425.54 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	104,425.54 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
全処理委託量	0.00 t	115.20 t	34.69 t	16.65 t	2.64 t	27.69 t	3.05 t	0.20 t	0.00 t	1.14 t	39.78 t	241.03 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	115.20 t	29.58 t	16.65 t	2.64 t	27.69 t	3.05 t	0.20 t	0.00 t	1.14 t	39.78 t	235.93 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	115.20 t	17.28 t	16.65 t	2.64 t	27.69 t	3.05 t	0.20 t	0.00 t	1.14 t	39.78 t	223.63 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

【今年度(令和8年度)目標】

(特管)

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	廃プラ類	廃油(ウエス)	廃酸	汚泥	廃アルカリ	廃蛍光灯	廃乾電池	OA・什器等	引火性廃油	合計
排出量	10,000.00 t	120.00 t	40.00 t	20.00 t	1.00 t	30.00 t	3.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t	40.00 t	10,255.00 t
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	10,000.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	10,000.00 t
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
全処理委託量	0.00 t	120.00 t	40.00 t	20.00 t	1.00 t	30.00 t	3.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t	40.00 t	255.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	120.00 t	30.00 t	20.00 t	1.00 t	30.00 t	3.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t	40.00 t	245.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.00 t	120.00 t	30.00 t	20.00 t	1.00 t	30.00 t	3.00 t	0.00 t	0.00 t	1.00 t	40.00 t	245.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t